

M. S. 社会システム学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

入学時から、卒業までに留学したいと考えていました。もともとは英語圏への留学を考えていましたが、第二外国語として韓国語を学び始め、もっと深く勉強したいと思い、1 回生の冬頃に韓国への留学を決めました。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

出願には、ハングル検定 4 級の取得が必須だったので、それに向けて勉強していました。教材は、『ペウギ』と『トウミ』というものを使っていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後は、リスニングの練習をあまりしていなかったので、バラエティ番組やドラマを観たりしていました。

④ 現地到着後

国際課を通して事前に申し込みをしていた送迎バスを利用しました。ですが、待ち時間がとても長かったので、自分で行けそうであれば電車や空港バスを利用した方がよいかもしれません。

オリエンテーションでは、韓国語と英語を使って説明してくれたので助かりました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

学期が始まる前にクラス分けテストを受けました。自分のレベルに合った授業を受けることができます。語学学校の先生はとても親身になって教えてくださり、普段の生活で困ったことがあったときも気軽に相談できました。

◆ 授業内容、課題、試験

作文、読解、会話、リスニングの授業がありました。全体的に発言を求められる機会が多かったです。課題はほとんど毎日出ていました。多くはないですが、自主学習の時間はきちんと作らないといけないと思います。試験は中間と期末テストがあります。普段から復習などをしっかりしていたら合格できるものでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

最寄り駅から少し遠く、出かける際は少し不便でした。大学内は広く、自然も豊かでした。施設も整っていて過ごしやすかったです。

◆ 履修科目

春学期

・ 中級韓国語書き、中級韓国語読み

語学学校以外にとった韓国語の授業です。語学学校とは違う先生が教えてくださいました。

・ Personality psychology

英語で行われる心理学の授業でした。周りの学生の英語力が高く、大変なところもありました。ディスカッションやグループ発表が多かったです。

秋学期

・ 高級韓国語書き、高級韓国語読み

春学期と同様です。

・ 韓国文化入門

韓国の様々な文化について学ぶ授業でした。自国の文化について発表する課題がありました。春・秋学期を通して、上記の授業と語学学校の授業（週 4 日）をとっていました。

◆ 授業、レポート、定期試験

春学期

・ 中級韓国語書き、中級韓国語読み

中間も期末も配られたプリントの問題の中からランダムに問題が出るというものでした。

・ Personality psychology

中間はレポート、期末は筆記試験で内容は難しめでした。

秋学期

・ 高級韓国語書き、高級韓国語読み

春学期と同様です。

・ 韓国文化入門

事前に先生がどのような問題を出すか、何を準備していたらいいか教えてくださいました。授業内で配られたプリントから主に出题されました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動などには参加しませんでした。現地の学生と留学生との交流会や、日本語学科の学生との交流会に参加しました。グループを作って、遊びに行ったりご飯を食べたりする機会があったので、韓国人の友達をつくる良い機会だと思います。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

寮が学校の敷地内にあったので、とても便利でした。部屋も広くはないですが、特に困ることはありませんでした。共同キッチンにはトースターと電子レンジしかないの、自炊はほとんどできませんでしたが、すぐ隣の寮に食堂があるので食事面でも特に困ることはないかなと思います。

⑨ 長期休暇の過ごし方

語学学校の夏期講習を受けている人も多かったです。私は、それは受けず資格や韓国語の勉強をしていました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

日本にいる友達に情報を聞いたり、SPI の勉強をしていました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

韓国人の友達と色々なところに遊びに行ったことが楽しかったです。ソウルは狭くて交通費も安いので、行きたかったところは全部まわることができました。また、日本からも来やすいので、友達や家族がたくさん会いに来てくれたのも嬉しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学当初は、日本では当たり前に行っている買い物などでも、会話が上手くできず億劫になることが多かったです。でも、必ず慣れてくるので焦らず徐々に生活に慣れていってほしいです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

電車や町中で、物乞いする人を日本よりよく見かけたことに驚きました。

辛い物をよく食べるからなのか、休み時間にトイレに行くと歯磨きをしている学生が多かったです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

語学学校の先生がとても良かったなと思います。

ソウルの端っこにある大学なので、どこへ行くにも時間がかかります。たくさん遊びに出かけたいという人には不便なところだと思いました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは絶対にあった方がいいと思います。他のものは特に思いつかないです。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学前は TOPIK 4 級でしたが、留学中に目標だった TOPIK 6 級を取得することができました。留学に行って授業や友達と話す機会がぐっと増えたので、話すことにも自信がつけました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

大学や現地の先生がしっかりサポートしてくださるので、不安も多いと思いますが、安心して留学に臨んでほしいなと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

留学を通して身につけた韓国語と英語を活かすことができる職種で春から働く予定です。
語学の勉強は絶えずして、これからも向上していきたいです。

V. 写真



食堂のご飯です。メニューは日替わりで、韓国料理と一般料理（日本食や洋食など日によって変わる）の2つのうちどちらかを選ぶシステムでした。私は韓国料理の方は辛すぎて食べられないことが多かったです。



語学堂のクラスで撮った写真です。私のクラスは中国人と日本人で15人でした。



キャンパス内で紅葉の時期に撮った写真です。リスがいるくらい自然豊かでした。